

歩掛参考見積募集要領

次のとおり、歩掛参考見積を募集します。

令和元年 8 月 20 日

独立行政法人 水資源機構
池田総合管理所長 足達 謙二

1. 目的

この歩掛参考見積募集は、池田総合管理所で予定している業務発注の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積募集に対する応募は、業務発注の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありませんことをあらかじめご承知下さい。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における平成 31・32 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員（技術者）、資機材の人数等を記載してご提出ください。

なお、参考見積書の様式は問いません。

- (2) 提出期間：令和元年 9 月 2 日（月）から令和元年 9 月 6 日（金）まで。
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 4 時までの間に(3)の提出先にご提出ください。

(3) 提出先

独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所 所長 足達 謙二 宛

【 担 当 】 総務課 久次米（クジメ）

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話 0883-72-2050 F A X 0883-72-0727

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、FAX（印影のあるものに限る）のいずれかの方法によりご提出ください。

(5) 見積有効期限

令和2年3月31日までとし、必ず記載して下さい。

4. 参考見積内容

(1) 業務内容

本業務は、新宮ダムの門柱補強工の概略設計及び詳細設計を行うものです。

(2) 業務作業項目及び数量

別添資料-1、別添資料-2のとおり。

(3) 業務費の構成と歩掛参考見積範囲

1) 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(各編)」(以下「基準書」という。)によるものとします。

2) 歩掛参考見積範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(2)「業務作業項目及び数量」を実施するために必要な作業員または技術者の人数とします。

(4) 作業員(技術者)の職種と定義

国土交通省が公表している「平成31年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対してご質問がある場合は、次のとおり、書面(様式は自由)によりご提出ください。

(1) 提出期間：令和元年8月23日(金)から令和元年8月29日(木)まで

ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和元年8月30日(金)から令和元年9月6日(金)まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. お問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらよりお問い合わせをさせて頂くことがあります。

以 上

(別添資料－１ 見積内容書)

第１節 業務目的

本業務は、新宮ダムの門柱補強工の概略設計及び詳細設計を行うことを目的とする。

第２節 業務内容

２－１ 計画準備

本業務の目的・趣旨を把握したうえで実施に先立ち、業務計画の立案を行う。

２－２ 現況調査

１．既存資料の収集・整理

機構が貸与する堤体観測データ、「新宮ダムの堤体挙動等に関する技術検討会(以下「技術検討会」という。)」資料、工事関係図書等(新宮ダム図面集、新宮ダム建設誌)、洪水放流設備の設計・工事資料等を基に、門柱補強に必要な資料の整理を行う。

２．現地確認

貸与資料を基に現地調査を行い、堤体、洪水放流設備、管理橋等の施設状況や、堤体観測状況及び周辺状況を把握し、門柱補強対策の設計及び施工計画立案に必要な情報を整理する。

２－３ 概略設計

１．基本事項の検討

門柱補強工は、ダム天端より鉛直下方に鋼材等を挿入し、外力に対するせん断抵抗力を高めるものである。設計を行うにあたり、現況調査結果を基に、以下の基本事項について検討・整理を行い、設計方針を策定する。

(1) 設計外力の検討

(2) 安全率の検討

(3) 補強材料の検討

２．設計条件の確認・整理

設計に先立ち、水理条件、工程制限、その他の制約条件を確認・整理する。

３．設計外力の検討

ダム建設当時の設計や、これまでの堤体挙動の状況及び技術検討会での検討結果を踏まえ、検討を行うにあたり妥当と考えられる外力(静水圧、動水圧、揚圧力、地震時慣性力等)を設定する。

４．安全率の検討

現況の構造物の目的、状態等を総合的に考慮し、補強対策工によって確保すべき

必要安全率を設定する。

5. 補強工の検討

構造特性、施工性、経済性等の総合的な観点から、補強材料について比較・検討を行うものとする。補強材料は3案程度を考えているが、協議の上、最適な材料の選定を行うものとする。なお、補強材料の配置（根入れ長を含む）、数量、寸法、材質については、「1. 基本事項の検討」で設定した安全率に基づき、検討を行うものとする。また、BL.10の監査廊閉塞（プラムライン移設を含む）について、検討を行うものとする。

2-4 詳細設計

1. 構造計算

概略設計の検討結果を踏まえ、発注者が指定する1案（以下「最適案」という。）について、詳細な構造計算を行うものとする。

2. 施工計画の検討

設計を実施する対策工案に対して、本節「2-3 概略設計」で設定した設計条件及び設計外力を十分に考慮し、構造特性（安定性、耐震性）、施工性（施工の安全性、難易性、確実性、施工ヤード、仮設等）、経済性等の事項を標準として、技術的検討を行うものとする。

2-5 設計図作成

概略設計においては、比較案それぞれに対し、一般図（平面図、側面図、補強材配置図、補強材詳細図）を作成するものとする。

詳細設計においては、最適案に対し、一般図（平面図、側面図、補強材配置図、補強材詳細図）、施工計画図、仮設計画図を作成するものとする。

2-6 数量計算

最適案に対し、数量算出要領に基づき、工種毎に数量を算出するものとする。

2-7 概算工事費

比較案それぞれに対し、共通仕様書第2章第11節に基づき、概算工事費を算定するものとする。

2-8 技術検討会資料作成

本業務における概略設計及び詳細設計の一部について、検討結果をとりまとめ、技術検討会の説明資料を作成する。

2-9 報告書作成

1. 報告書作成

業務の成果として特記仕様書第2章第2節により作成した成果を取りまとめ、報告書を作成するものとする。

2. 補強工法比較一覧表の作成

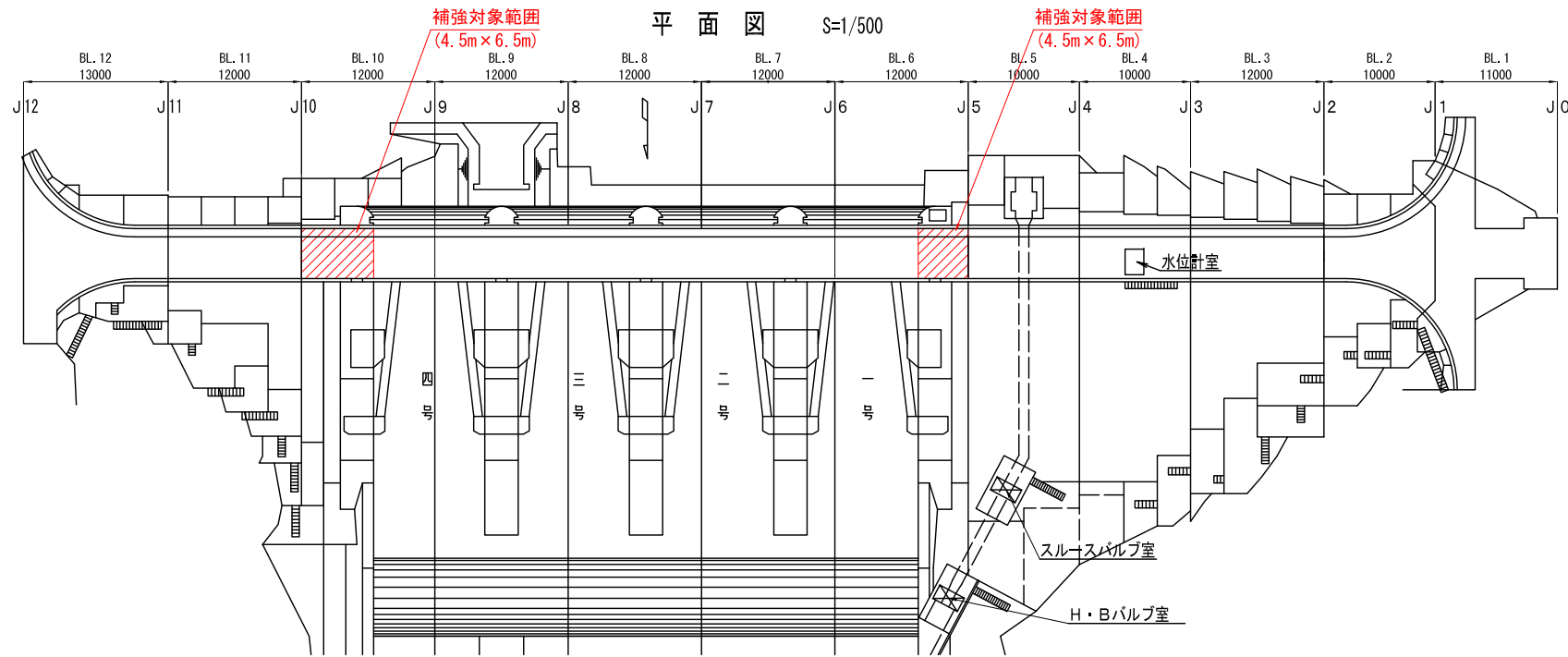
補強工法比較案に関する検討結果をとりまとめ、補強工法比較一覧表の作成を行うものとする。補強工法比較一覧表には、一般図(平面図、側面図、補強材配置図、補強材詳細図)を記入するほか、技術的特徴・課題を列記し、各補強工法案の評価を行い、最適案を明示するものとする。

第3節 業務上の留意事項

1. 設計にあたっては、社会的条件・維持管理・施工性・安全性・経済性等について十分考慮しなければならない。
2. 設計に適用した基準等は、「出典」を報告書に記載するものとする。
3. 構造計算にあたっては、「(1) 適用基準 (2) 設計条件 (3) 計算式及び計算結果」等、順を追って確認出来るようとりまとめるものとする。
4. 貸与資料の報告書を引用する際は、出来るだけコピーを添付又は引用ページを記載するものとする。

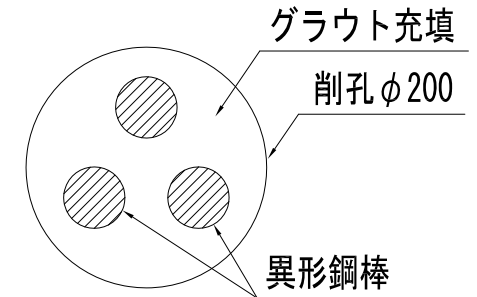
以 上

門柱補強工 位置図 (参考図)

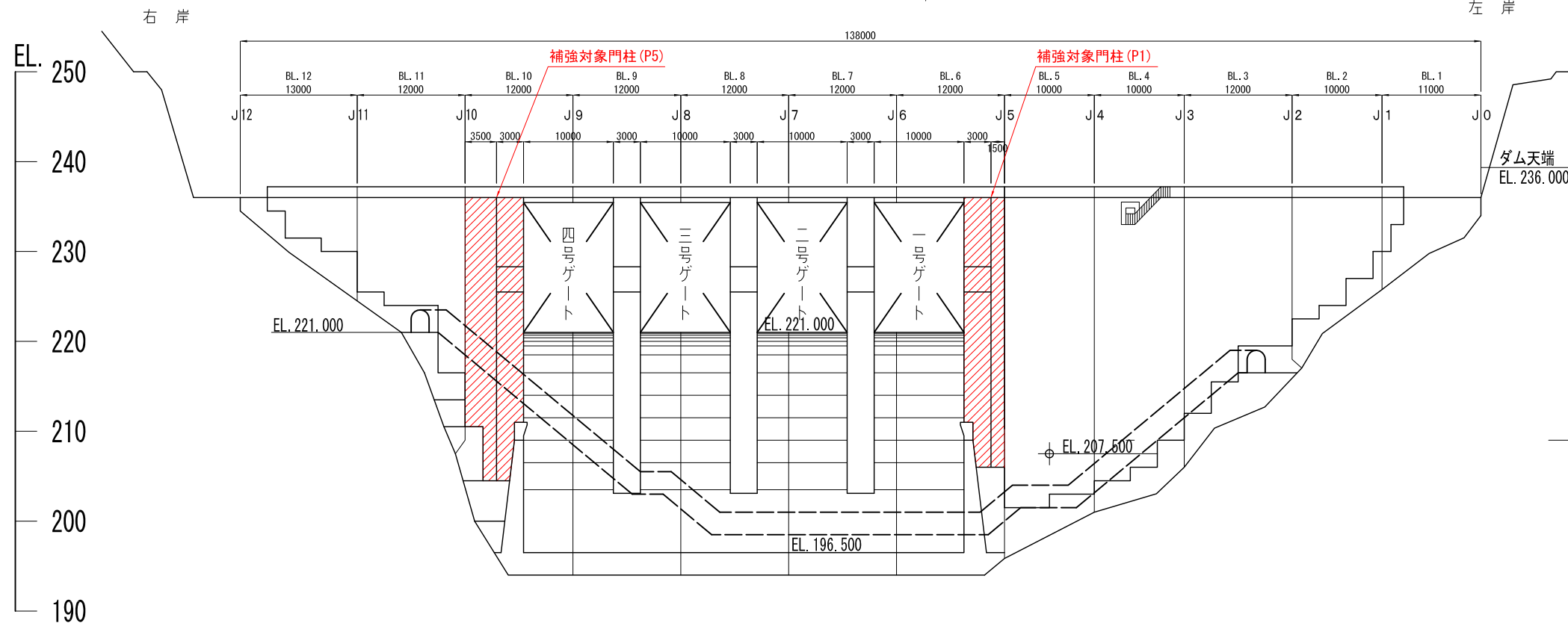


門柱補強材料 (案)

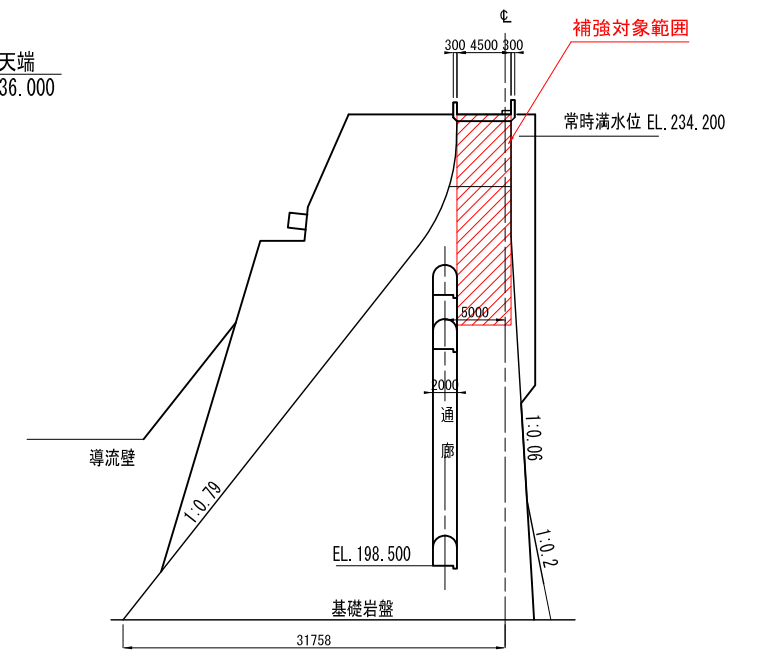
鉄筋挿入による補強の場合



下流面図 S=1/500



P1 門柱側面図 S=1/500



【参考図】

業務名	新宮ダム追加暫定対策工事設計業務		
名称	門柱補強工 位置図		
登録番号		整理番号	
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所			